

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和2年度・第2次筆記試験】 事例Ⅳ（財務・会計戦略）

この模範解答例は
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点25点）

（設問1）

	(a)	(b)
①	売上高総利益率	26.39 (%)
②	負債比率	532.24 (%)
	有形固定資産回転率	5.30 (回)

※負債比率の別解

②	自己資本比率	15.82 (%)
---	--------	-------------

※有形固定資産回転率の別解

②	売上高経常利益率	1.65 (%)
---	----------	------------

（設問2）（60字）

戸建住宅事業の顧客評価が高く粗利面での収益性は高いが、借入依存で安全性は低く、赤字店舗・未利用地保有等により効率性が低い。（60字）

第2問（配点30点）

（設問1）

(a)	<ul style="list-style-type: none"> 売上高70百万円までの限界利益率： 変動費率$=39 \div 60 = 0.65$、限界利益率$=1 - 0.65 = 0.35$ 売上高70百万円を超えた分についての限界利益率： 変動費率$=0.6$より、限界利益率$=1 - 0.6 = 0.4$ 損益分岐点売上高(S)： 「限界利益=固定費」より、$70 \times 0.35 + (S - 70) \times 0.4 = 28$ $0.4S = 31.5$ $S = 78.75$（百万円）
(b)	78.75百万円

（設問2）

(a)	(i)	<ul style="list-style-type: none"> 効果が出る場合： $NPV = -5 + (35 - 5) \times (0.926 + 0.857 + 0.794 + 0.735) + (35 + 24) \times 0.681$ $= 134.539$ 効果が出ない場合： $NPV = -5 + (-5 - 5) \times (0.926 + 0.857) + (-5 + 28) \times 0.794$ $= \Delta 4.568$ $134.539 \times 0.7 + (-4.568) \times 0.3 = 92.8069 \approx 92.81$（百万円）
	(ii)	92.81百万円

AASは『正しい答えではなく、論理の妥当性で勝負する』スタイルの診断士受験専門機関です。

(b)	(i)	<ul style="list-style-type: none">・20X2年の営業CFの期待値：$25 \times 0.5 \times 0.4 + 15 \times 0.5 \times 0.6 = 9.5$・20X3～20X7年の各年の営業CFの期待値：$25 \times 0.4 + 15 \times 0.6 = 19$・正味現在価値： $NPV = -30 + 9.5 \times 0.926 + 19 \times (0.857 + 0.794 + 0.735 + 0.681) + 27 \times 0.681$ $= 55.457 \div 55.46$ (百万円)
	(ii)	55.46百万円

(c) ①

第3問 (配点 20点)

(設問1) (40文字)

時価純資産額と買収価格の差異△100百万円を負ののれんとして特別利益に計上する。(39字)

(設問2) (60文字)

E社は純損失を計上しており、買収後事業に悪影響を及ぼす恐れがあるため、収益改善に向けた事業計画の立案により買収検討を行う。(60字)

第4問 (配点 25点)

(設問1)

(a) 4.31%

(b) 2.55%

(設問2)

4.18%

(設問3)

(a) (20文字)

調達コスト面での評価が考慮されていない。(19字)

(b) (20文字)

調達コストを控除した後の利益で評価を行う。(20字)

※別解

(a) (20文字)

中長期的な投資効果が評価に反映されない。(19字)

(b) (20文字)

事業計画の達成度合等を評価に加味する。(18字)

文責：AAS名古屋鷺山はるこ